

熱海市教育振興審議会 第1回会議結果

開催日時	令和2年2月26日（水） 13時00分～14時40分
開催場所	熱海市役所第3庁舎第1～3会議室
出席者	<p>【出席委員】 石井委員・原委員・津田委員・清水委員・長津委員・山田委員 加藤委員・二見委員・川崎委員・池田委員・塩見委員・松岡委員</p> <p>【欠席委員】 當摩委員・鈴木委員</p> <p>【教育委員会事務局】 教育長・教育委員会事務局次長・学校教育課長・専門監・ 生涯学習課長・図書館長・教育保育推進室長・総務管理室長</p> <p>【事務局】 学校教育課教育保育推進室</p>
会議内容	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委嘱状交付 机上配布により交付。</p> <p>3. 教育長挨拶 教育長の新村でございます。</p> <p>今般、熱海市教育振興審議会の委員へのご就任をお願いしましたところ、ご多忙中にもかかわらず皆様、ご快諾頂きましてありがとうございます。改めて御礼申し上げます。</p> <p>お忙しい中、限られた時間でのご審議をお願いしたいと思っておりますので、ご迷惑をおかけしますがその点についてもご協力をどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>さて、今回ご審議いただく、教育振興基本計画の案は令和2年度から令和11年度までの10年間の計画であり、教育に関する様々な課題に対し、取り組むべき方向性を示したものであります。幼児教育の充実をはじめ、学習指導要領改訂に伴う対応から熱海らしい特色ある教育、また生涯学習まで全体をお示ししており、市長と教育委員会で構成する総合教育会議においては、案として承認されましたが、今一度、市民代表の皆様、教育関係者、識者の皆様にご審議いただき、計画を完成させたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、今回、学校の統廃合などについての計画である、学校等施設の適正規模・適正配置計画の案についてもご審議いただくこととさせていただいております。</p> <p>学校の統廃合については、学校が各地域のコミュニティの拠点であることを踏まえながらも、児童・生徒が今後も減少する中、子どもたちの将来を第一に考えますとある一定規模の児童生徒数のある学校であることが重要と考えております。</p> <p>委員の皆様には、それぞれのお立場・見識から活発なご審議のほどお願いを申し上げます。簡単ではございますが私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

会議内容

4. 委員自己紹介

委員名簿及び配席表により紹介

5. 正副会長選出

(1) 審議会について

資料3に基づき説明がなされた。

(2) 仮議長選出

本審議会は、条例により会長1名、副会長1名を置くこととされており、会長選出について互選により、副会長は会長が指名して定めることとなっている。選出の方法などについては、仮議長を選任し、仮議長のもとに、委員に諮ることを伝え、仮議長については、教育長が務めることを報告。

(3) 正副会長就任（仮議長による進行）

原委員より会長に石井委員の推薦がなされ、承認された。

石井会長より副会長に松岡委員が指名された。

会長 石井委員、副会長 松岡委員 両委員より就任の挨拶がなされる。

(石井会長)

委員の皆様からのご推薦で、会長に就任いたしました石井です。教育振興審議会は、教育振興基本計画の策定及び同計画に関する重要課題を審議する機関であります。

今回は、令和2年度からの10年計画である教育振興基本計画とともに、少子化、児童生徒数が減少していくことが避けられない中、統廃合に関わる計画も含まれております。

熱海市の教育の発展のため、市民の立場、有識者の立場で意見や提言を行っていきたいと考えておりますので、委員皆様のご協力をお願いいたします。

(松岡副会長)

皆様、改めましてこんにちは。

石井会長よりご指名いただきました、栄光あたま中央保育園園長の松岡です。

不慣れではございますが、石井会長を精一杯、補佐させていただきますので、皆様のご協力をお願いいたします。

※決定事項 会長 石井倭雄氏、副会長 松岡美代子氏が就任。

教育長の仮議長職を解く。以後、進行は石井会長。

6. 諮問

教育長より会長へ諮問(諮問書及び熱海市教育振興基本計画(兼教育大綱)(案)及び学校等施設の適正規模・適正配置計画(案))

7. 「熱海市教育振興基本計画(兼教育大綱)(案)及び学校等施設の適正規模・適正配置計画(案)」について (以後、進行は石井会長。)

(1) 説明(学校教育課長)

両計画(案)について、**資料5**、**資料6**に基づき、説明がなされた。

(2) 審議

(石井会長)

ただ今、両計画(案)について、事務局より説明がありました。

ここで委員の皆様にご質問やご意見などを伺ってまいりたいと思います。

始めに資料5教育振興基本計画(案)についてです。

今回は初回ですので、どんなことでも構いませんのでご質問、ご意見のございます方はお願いいたします。

(委員)

総合的な質問になるが、教育の予算は統合のたびに減っているか。

(教育委員会事務局)

教職員の人件費は県費の負担である。市の負担は主に施設の維持管理に係るものである。市内の学校施設については学校規模や校舎の形態が学校によって異なっているため、一概に施設経費がいくらになるということは申し上げられないが、全体としては減少する。

(委員)

予算としては減っていくということでしょうか。

(教育委員会事務局)

学校施設は建築から20~30年を経過しているが、これまで大きな施設改修を

会議内容

行ってこなかった。統合によって1校が減り施設費がなくなったとしても、改修費として億単位での支出が見込まれ、今後数年は微増になるのではないかと思う。

(委員)

学校教育には含まれるものではないかもしれないが、子どもの教育環境として、親学や家庭環境が重要であると思う。朝食やSNS等、子どもだけでは解決できないことだと思うので、社会教育の中の家庭教育に触れる部分があるといい。

(教育委員会事務局)

ご指摘のとおり大切だと考えている。携帯の保有やSNSの利用が小・中学生ともにあり、生活実態調査でもゲームの時間が多くなっている。調査結果を分析して、学校でも指導をしていきたい。携帯会社に協力をいただいた研修の実施やPTAでもフィルタリングの講習を通して指導を行ってもらっている。家庭教育学級や警察とも連携していきたい。

(石井会長)

家庭教育学級等を含めてほしいということだと思うのでお願いしたい。

(委員)

見方について確認したい。42ページの外国語専科教員配置8人(0人)とあるが、これは計画期間の10年間で現状0人を8人まで増やすということか。

(教育委員会事務局)

そのとおりである。新しい教育指導要領でも英語教育の充実が盛り込まれており、小学校の教員を対象にした指導講座を行うことや中学校の英語の免許を取得している教員を小学校に配置することを考えている。

(委員)

その上の項目で、自己研鑽に努めている教職員割合は100%(80%)となっているが、現状2割は努めていないということか。

(教育委員会事務局)

この項目については、新学習指導要領の理解を問うものである。自己研鑽は常

に努めており、その上で新学習指導要領を明確に理解していくことを目標としている。

(委員)

小学校の不登校の児童は中学校より多いとのことだが、不登校の子どもたちへの対応として環境を変えるといいということが言われていると思う。適正規模・適正配置計画の中で小規模の学校についても触れているが、不登校の子どもたちが大規模の学校から小規模の学校に移ってうまくいくということもあるのではないか。そういった意味で、国が示している12学級を基準にしているのか。例えば、小規模校である桃山小学校が他から劣っているという話は聞かない。学校の規模だけではなく、不登校に関連してである。

(教育委員会事務局)

今年については中学校が多くなっている。不登校の理由は複雑で多岐にわたるが、子どもの心の疲弊、心のエネルギーが減っているということが言われている。家庭で愛され、学校で自立するというサイクルができていけばよいと思うので、スクールカウンセラー等とも相談しながら対応している。おっしゃるとおり環境の面もあり、学年が変わるタイミング等をとらえて対応していきたい。

(教育委員会事務局)

桃山小学校は現状で複式学級が複数できている状況である。適正規模・適正配置計画の中で、増加するのは桃山小だけで令和3年度には複式学級が解消するが、児童数を一定規模に維持していくこと、学級数だけにとらわれず、一定のクラス数で考えていきたい。桃山小学校に限らず、児童数に注目して検討していきたい。

(委員)

どれがいいのか決めるのは難しいと思う。子どもの逃げ場所として小規模校を残すこともよいと思う。児童数が減って複式学級となることが課題であることは理解しているおり重要だと思うが、統合するにしても何にしてもそれぞれの学校が取り組んできた特色をくんで進めてほしい。特に小学校は地域の拠点であり、学校がなくなれば集まる場所もなくなり、コミュニティが崩壊することを懸念している。良い方向になるよう進めていただきたい。

(石井会長)

資料6の適正規模・適正配置計画(案)の質問も出てきているので、そちらも含めてお願いしたい。

(委員)

泉幼稚園では湯河原からきている子どもの人数が多いと聞いた。年長児がたくさんいたので全員が小学校に上がるとしたら新1年生は3、4人とのことだった。適正規模・適正配置計画で泉小中学校については慎重に検討とあるが、他にも行っている湯河原町との広域の考え方は教育にはそぐわないか。子どものことを一番に考えて、県境であるので、幼稚園に湯河原の子がいることを踏まえて考えることはできないか。

(教育委員会事務局)

泉幼稚園に湯河原の子が多いことは、ここ数年顕著である。市内住所の子どもの人数だけで考えれば、泉幼稚園は休園も含めて検討を行う状況でもあるが、現状では湯河原の子を受け入れて湯河原町から人件費等の費用をもらっている。また、小学校と中学校は県境を越えて湯河原へ通っている子がいるが、家庭の都合で通学していると承知している。そういった意味で広域というところはあるが、湯河原との関係もあるので、広域は明確に記載できないのでご理解いただきたい。

(委員)

基本計画の51、52ページの施策9体験活動や社会参画への機会充実の部分で、防災訓練の参加率を現状60%から70%にとある。上多賀地区で子どもの参加率は低いと感じており、今年度の地区体育祭でスマホをいじっていた子どもを注意したことがあった。顔が見えれば地域でもいじめ等にも対応できるのではないかと思う。防災訓練も参加がない状況なので、学校からも依頼をお願いしたい。

(石井会長)

中部地区では中学生は30人くらいが参加しているが、ご意見はもっともだと思う。意見としてうかがうことにしたい。

(委員)

資料5の40ページに幼児教育の質の向上がある。幼稚園や保育園に専科教員やALTの配置をしてもいいのではないか。部活動でも学校の外部へいく子どもが増えているので、先生の負担を減らすことも含め、もっと外へ出ることを考えてもよい。また、熱海らしい特色ある教育の推進とあるが、熱海らしいとは何か。ICTの活用は全国でも行っていることなので、何か特化することがあってもよいのではないか。

(石井会長)

意見としてうかがう。事務局から何かあるか。

(教育委員会事務局)

幼児教育については、公立園と私立園でカリキュラムに差がある。私立園では教育に近い保育をしている。公立園は預かるだけでなく、私立園を参考にそのあたりに力を入れたい。水泳教室や熱海のお散歩をカリキュラムに組み込んだが、保育士の人材不足もあるので、外部の力を借りていかないといけない。

(教育委員会事務局)

部活動については昨年ガイドラインをお示しし、休日等の部活動の時間が明記されメリハリが出て教員の多忙化解消につながっている。来年度からは部活動指導員を熱海中と多賀中に置き、子どもたちはより専門的に入り込んでいくことができ、教員の多忙化解消にもつながると思う。部活動は外部へ通うことも認めているので、子どもたちそれぞれが目標に向かって進んでいけるといいと思っている。熱海らしい教育については、子どもが熱海を知ることが重要であると考えているので、郷土読本あたみを活用して、教科を横断的に展開していくことを模索している。

(委員)

施策10の伝統や文化等に関する教育の推進と施策16の熱海らしい特色ある教育の推進は派生的か。

(教育委員会事務局)

ご指摘のとおりである。熱海らしい教育は、前の現在の計画にもうたわれている。今回の計画から外すことも考えたが、今後の計画に永遠に残すのではないにしても、計画の中で位置づけた。現状これだというものがお示しできていないが、

熱海らしいとは何かを考えるという意味で残している。

(委員)

熱海市の人口の特色として高齢化率の高さがある。高齢の方々の中には知識を持っている方も多くいるので、そうした高齢者をつなげていけることが熱海らしいと考える。

(石井会長)

熱海らしい教育については私たちも考えていかなければと思う。ご意見としてうかがいたい。

(委員)

資料5の50ページのいじめ解消割合について、2018年末で数字が入るかと思う。不登校の基準は年30日以上であると思うので、解消の割合を100%とするのは見えないのではないか。また、57ページの小中学生の起床時間の部分に目標値がないので追記が必要である。

(教育委員会事務局)

目標値が漏れているので修正する。55ページと同じ目標なので同じ数値が入る。

(教育委員会事務局)

いじめ解消割合は現状で解消しているものもあり、重大案件はない状況である。年30日以上が基本であるが30日に近い子ども数があるので、どのようなアプローチが必要か考えながら対応していきたい。

(委員)

防災訓練等の地域行事への参加が、51ページの施策9体験活動や社会参画への機会の充実、施策6子どもたちの自己肯定感・自己有用款の育成にも含まれているが、子どもたちが取り組む地域課題とは何か。

(教育委員会事務局)

具体的なものをお示しするのはこれからになる。現在も地域学習を行っていると思うが、市全体や校区の現状を生々しい数字なりで良いことも悪いことも把握

してもらい、地域行事に参加することを考えている。

(委員)

具体的なものがあるといいので、地域に入った時のことを考えて掘り下げた形で示してもらえるといい。

(石井会長)

ご意見としてうかがう。時間もだいぶ押しているが、ご意見ありがたい。本日は終了とし、今一度ご一読いただき、次回またお願いしたい。

8. 次回開催予定について (学校教育課長)

9. 閉会